

G 車マニュアル (HICCD DR UGI)



予定申し送り伝票



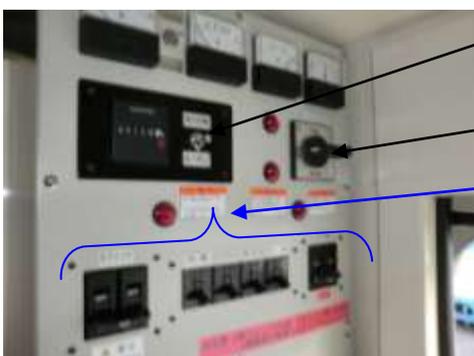
書式

受付横のコピー機で胃検診用に1部コピーします



現場に着くと装置固定具をはずします

軽くはさんでいる状態：この位置によけておきます（金具にしっかり固定）



エンジン始動前に電源パネル全て OFF を確認

切り換えスイッチ（発電機使用が多い）

主電源各種メインスイッチ

主電源から順次 ON にする

画像収集はデジタル PC 管理ですので湿気：温度上昇：振動でフリーズします

透視はアナログですので通常観察できます：テストは必ず撮影まで行う

瞬間停電：発電機不安定（UPS 装備により軽微の発生率）



撮影いすの下電源 ON を確認



ON

通信エラー (PC 異常動作の時)
電源を切って1分後に再度電源 ON し
てくださいとメッセージが出ます

OFF



撮影室奥の DELL パソコン
スイッチ中央丸のボタン
青ランプ点灯
撮影系統には無関係とのこと

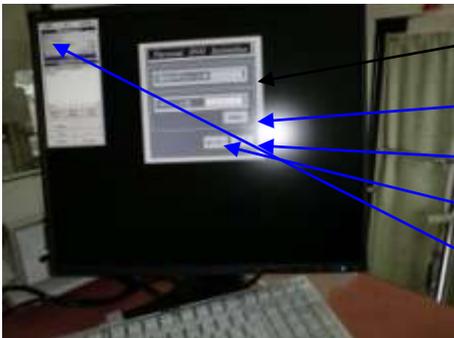
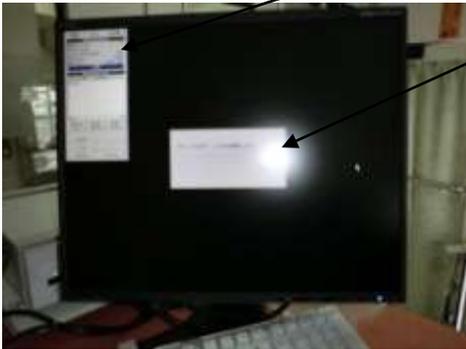


立ち上がり途中で ESCAPE をクリック
してくださいとエラーメッセージが出
ます。

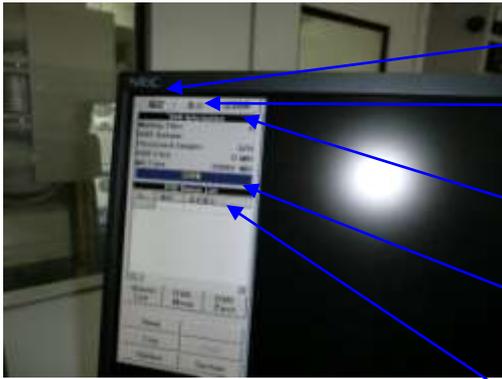


DVD 挿入口

注意：最初の読み込み時 OK のクリッ
ク作業あり

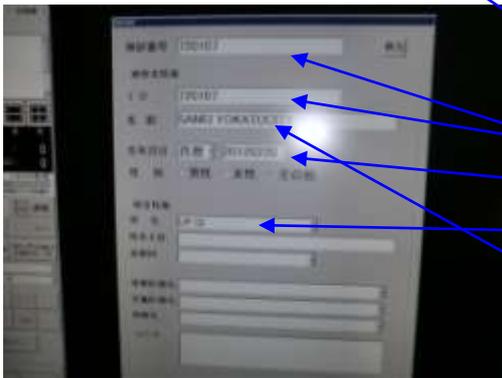


撮影： ： ： ボタン



撮影
表示

記録庫

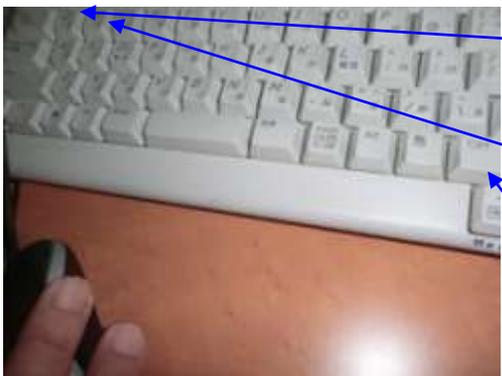


ナンバーリングを設定します

生年月日は撮影日に修正

Ugi となっているか確認

検診場所を大文字のローマ字入力

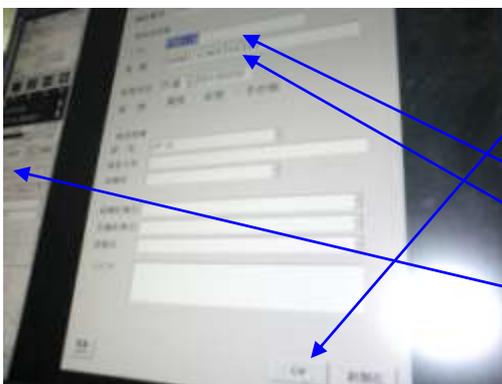


F1 で検査終了開始ができます

: F2 で検査終了開始ができます

濃度調整とコマ送りボタン

濃度は白っぽくレベルを下げます



検査開始画面 OK で検査可能になります
(OK をしないと透視はできますが撮影はできません)

撮影番号

検診場所を大文字入力

撮影した画像は HD に保管されています。

要領が 80 パーセントを超えると通信エラーの発生につながります

必要に応じて検査開始前に消去が必要 (正職員権限ですので臨時職員は管理しない)

撮影（濃度調整はコントラストできるだけ下げる）

二重造影正面（胃角：または体の正面）



二重造影第1斜位（前庭部）



二重造影第2斜位



二重造影前壁（体中部までみえるのが良い）
胃角を出せたらベスト



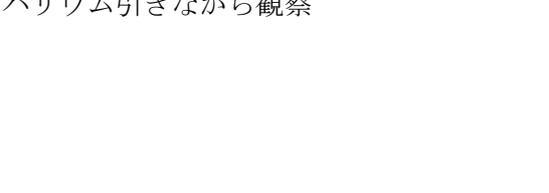
胃底部二重造影第1斜位腹臥位



胃底部二重造影第2斜位背臥位



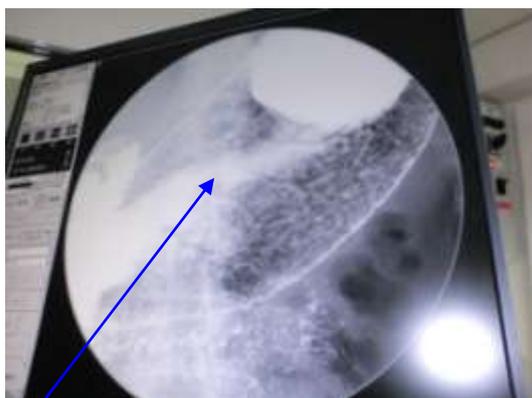
バリウム引きながら観察



背臥位小弯側センター



体中部小弯側二重造影第2斜位背臥位



基本はきれいにさばく

胃底部二重造影第1斜位背臥位



十二指腸球部重ならない程度

胃底部二重造影正面（立位充満と同じ体位）



- 撮影台を倒しながら右回り3回転
- 二重造影正面→
- 二重造影第1斜位→
- 二重造影第2斜位→
- 二重造影前壁→
- 胃底部二重造影第1斜位腹臥位→
- 胃底部二重造影第2斜位背臥位→
- 体中部小弯側二重造影第2斜位背臥位→
- 胃底部二重造影第1斜位背臥位→
- 胃底部二重造影正面（立位充満体位）

バリウム200VW%：130cc：発泡剤5g（バリウム服用法）

助手さんが全ての段取りを取ります：

受検者番号と撮影番号の確認を要注意

検査開始と終了；撮影開始番号の確認など

技師は撮影に集中する9ショットがルーチン

検診が全て終了したらあわてず、**DVD画像確認して読み込み100%**にてシャットダウン

装置固定：ドアの閉め忘れなど点検し帰路へ

問診票を持ち帰る

装置異常および故障の場合は保険協会代表電話 098-889-6474

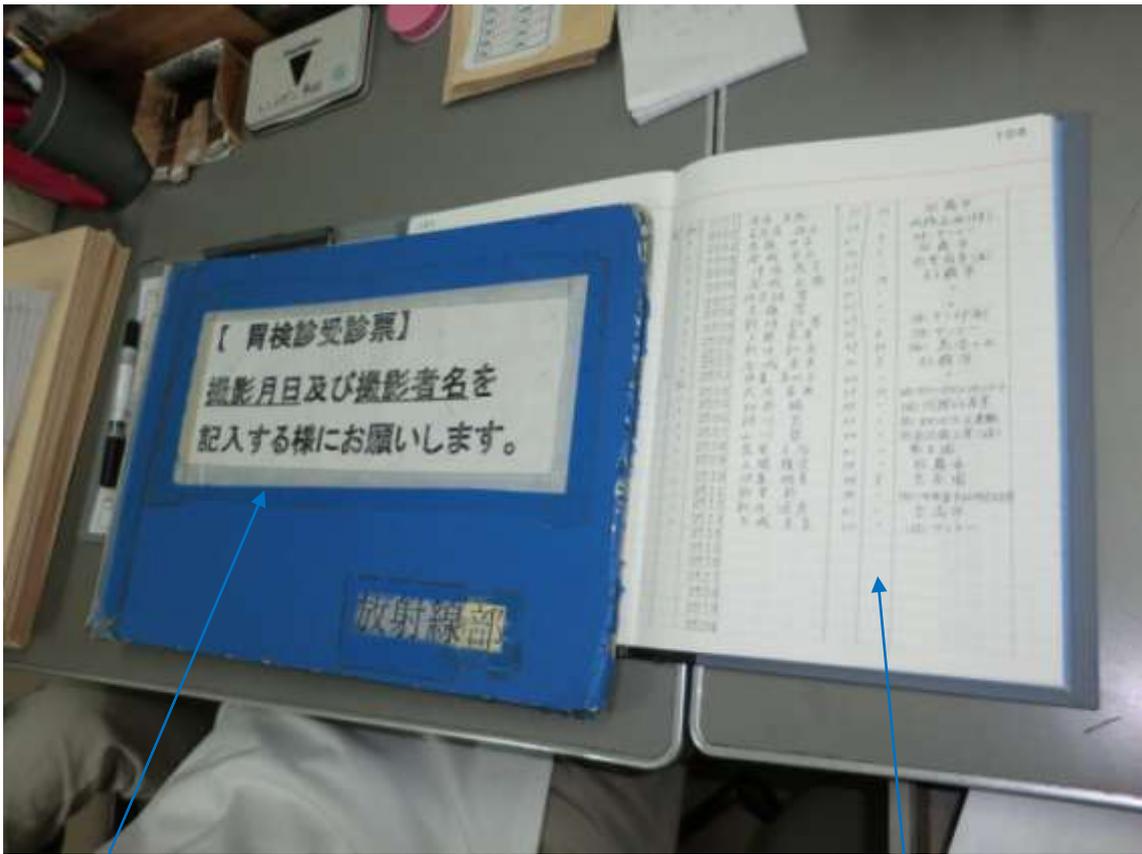
新垣 則雄まで

直接連絡は 09044705558



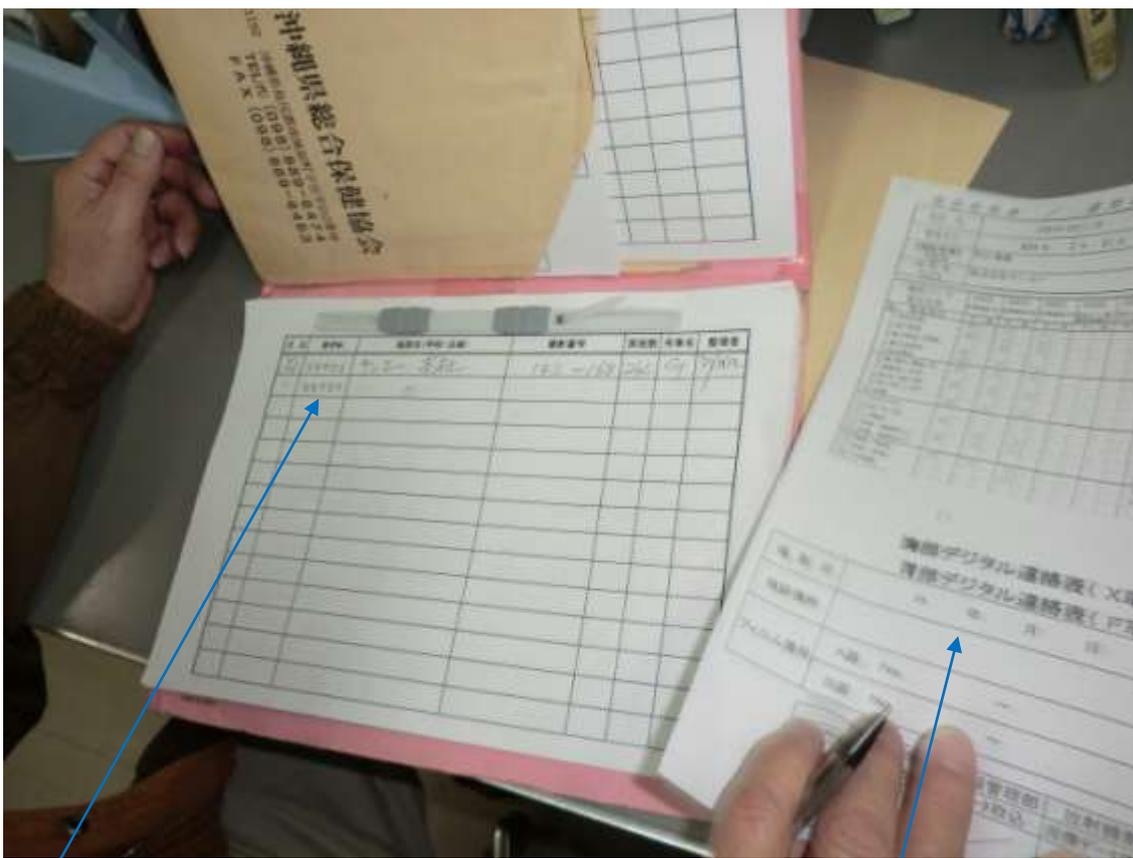
書類整理 巻きナンバー

問診票



受診票帳簿に検診場所と撮影者：助手を記入

胃健診簿にも記入

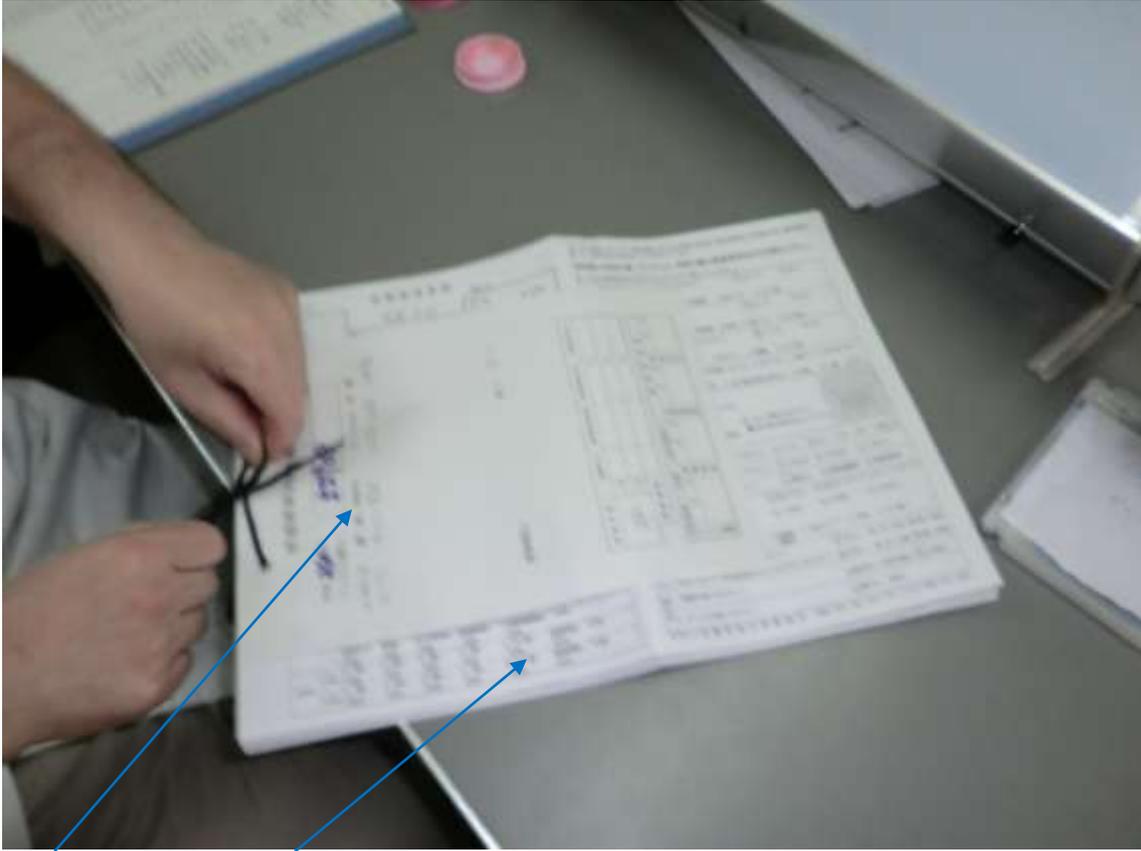


デジタルの場合巻きナンバーをこの台帳にカウント

健診予定表コピーにDVD連絡票を添えて

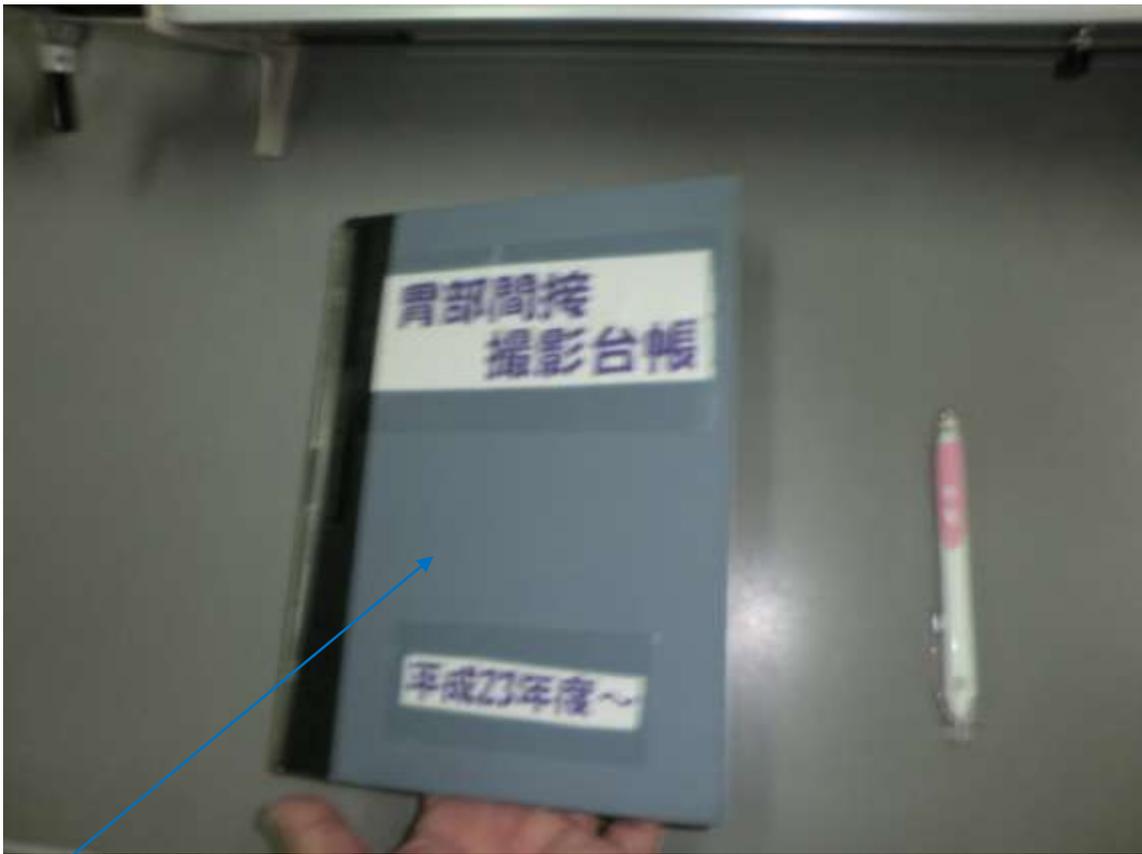
提出

封筒は鉛筆で小さく薄く詳細記入して所定の場所に入れる



問診票と読影依頼用紙（巻きナンバーは24年度紫で記入）綴って所定の場所に

問診票



フィルムの場合この台帳に記入